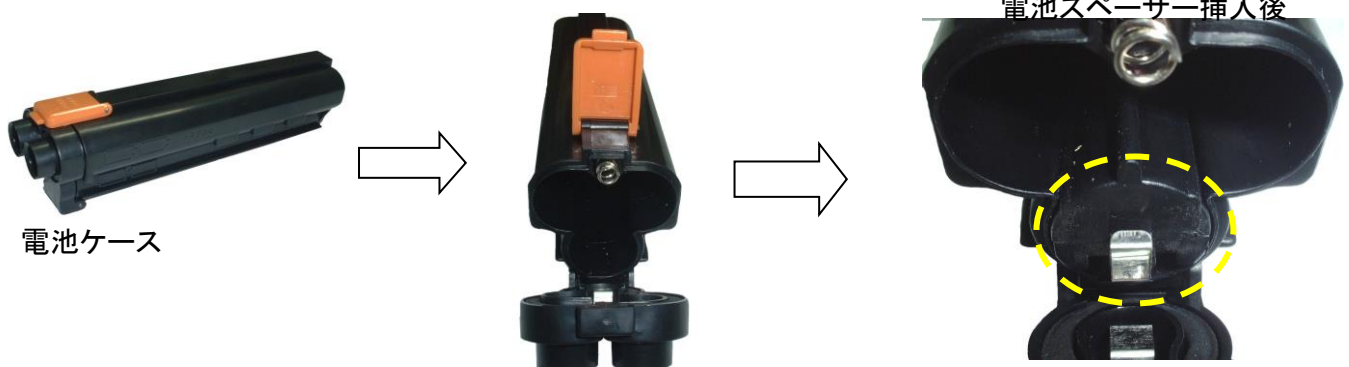


EA916X-6

防水型メガホン(小型)

仕様

- 通達距離…音声:約250m
- 定格出力…6W(最大10W)
- 電源…単3電池6本 又は
4本(電池スペーサー使用時)
- 電池持続時間…6本:約8時間
4本:約5時間
- サイズ…250×154×266(H)mm
- 重量…本体:約660g(電池含まず)
- 抗菌仕様(ハンドル・送話部)
- 付属品…電池6本→電池4本変更用電池スペーサー
- 材質…ASA樹脂
- 防水型(IPX5)
- **電池は付属していません**



⚠ 注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

使用するときの注意

次のことを必ずお守りください。

守らないと、聴力障害などの原因となることがあります。

- 使用する前には音量（ボリューム）を最小にする。
- スピーカーを耳に向けて使用しない。
- 動作テストなどは、地面に向けて行う。



強制

電池の取り扱いに注意する

次のことを必ずお守りください。

守らないと、電池の液もれ・破裂により、火災・けがの原因となることがあります。

- ショート・分解・加熱をしたり、火の中に入れてしらない。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- 乾電池は充電しない。
- 電池に直接はんだ付けしない。
- 指定した電池を使用する。
- (+) と (-) に注意し、表示どおり正しく入れる。
- 直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管する。



強制

■ 使用上のご注意

- 本機の防水性能は、雨などの水の飛沫がかかるような状況でも使用できる防噴流形（IPX5）ですが、水中や強い雨で使用したり、直接水をかけたりしないでください。故障の原因となります。
- 万一、次のような異常が起きたら、販売店にご相談ください。そのまま使用すると故障の原因となります。
 - ・ 煙が出ている、変なにおいがするとき
 - ・ 内部に水や異物が入ったとき
 - ・ 音が出ないとき（電池が正しい方向に挿入されており、消耗もしていないことを確認後）
- 湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湯気のあたるような場所に置かないでください。故障の原因となることがあります。
- 長時間電池を入れたままにする場合は、電池が切れていないか、液漏れしていないかを定期的に点検してください。
- 長時間、音が歪んだ状態で使用しないでください。メガホン内部が発熱し、故障の原因となることがあります。
- 本機の近くで携帯電話などを使用すると、ノイズが発生することがありますが故障ではありません。携帯電話などは本機からできるだけ離れて使用してください。
- ケース外部の汚れの清掃には、水に濡らして固く絞った布を使用してください。また、ひどい汚れには、中性洗剤をしみこませて固く絞った布を使用してください。ベンジン・シンナーなどは絶対に使用しないでください。ケースの変形や変色の原因になります。

■ 使いかた

⚠ 注意

- トークスイッチを押す前には、必ずボリュームを最小にしておいてください。
- 音量テストをするときは、スピーカーを地面に向けて行ってください。

- 1 トークスイッチを押しながら、ボリュームでハウリング（キーンという音）が起こらないように適当な音量に調節する。

室内など音の反響が多い場所ではハウリングが起こりやすいので、特に電池が新しい場合はボリューム目盛りを最大まで上げることができません。ボリューム目盛りの位置は、中間程度を目安に音量を調節してください。

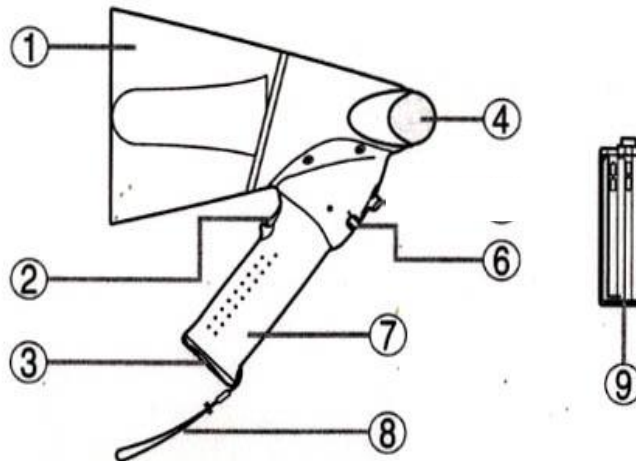
- 2 送話口から 1 cm 程度の距離で、大きめの声で話す。

※ 送話口を離し過ぎたり、小さな声で話したりすると、音量不足になることがあります。

ご注意

送話口の穴に水滴がたまると、著しく音量不足になることがあります。水滴を布などで拭き取るか、十分乾かしてから使用してください。

■ 各部の名称とはたらき



① スピーカー（ホーン部）

② トークスイッチ

押すと電源が入り、拡声できます。離すと電源が切れます。

③ 電池カバー

内部に電池収納部があります。
カバーの開け閉めは、確実に行ってください。

④ 送話口

送話口から1 cm程度の距離で話します。抗菌処理を施しているため、衛生上、安全に使用できます。

⑥ ボリューム

右の方へ回すと、音量が大きくなります。



音量 大

⑦ ハンドル

抗菌処理を施しているため、衛生上、安全に使用できます。

⑧ ベルト

持ち運ぶときなどに、肩にかけて使用します。
(長さ：約60 cm)

⑨ 電池ケース

単3形乾電池を

6個(バッテリースペーサー使用時は4個)を収納します。

※ 工場出荷時は、ハンドル⑦内部に収納しています。

■ 電池交換のしかた

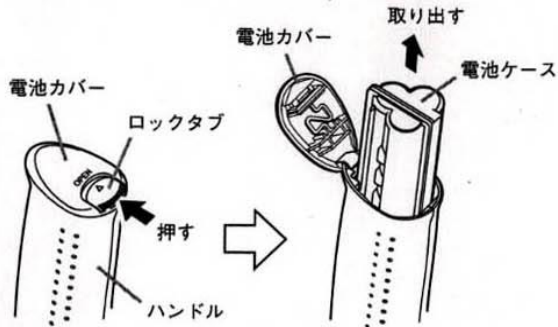
ご注意

本機が濡れているときは必ず水をよく拭き取り、乾燥させてから行ってください。

1 電池カバーを開けて、電池ケースを取り出す。

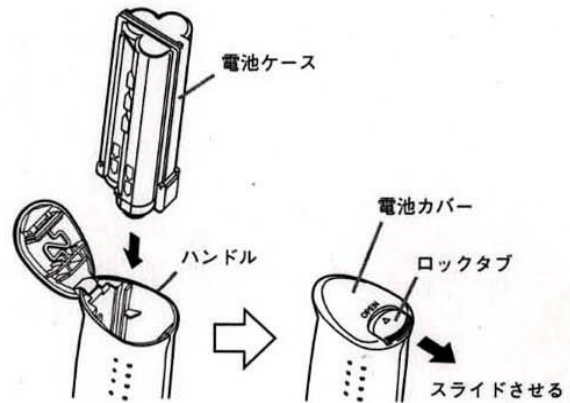
ロックタブを矢印方向に押すと、電池カバーのロックが解除されます。

〔電池カバーの開けた〕



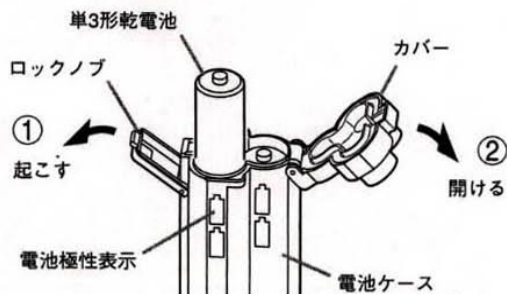
4 電池ケースをハンドル内部に収納し、電池カバーを閉める。

電池ケースの向きに注意してください。
電池カバーを閉めるときは、電池カバーを押さえ、ロックタブを矢印方向にスライドさせてください。



2 電池ケースのカバーを開けて、単3形乾電池を入れる。

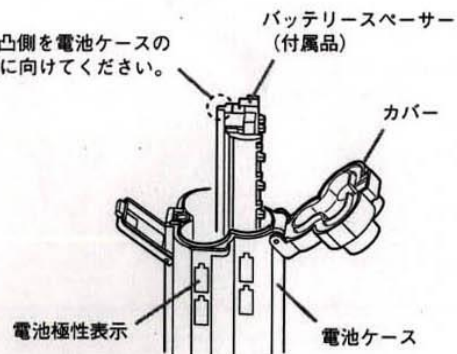
6個の単3形乾電池を入れてください。
電池ケースのロックノブを起こすと、カバーが開きます。電池はケースの電池極性表示に従って入れてください。



● バッテリースペースの使いかた

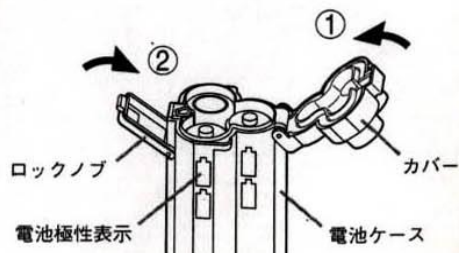
付属のバッテリースペースを電池ケースに挿入して使うと、単3形乾電池（4個）でも使用できます。付属のバッテリースペースを電池収納部のいずれか1カ所に挿入し、電池極性表示に従って電池を入れてください。

※ この凸側を電池ケースの内側に向けてください。



3 電池の極性を確認して、電池ケースのカバーを閉じる。

カバーを閉じて、ロックノブでしっかりロックしてください。



ご注意

単3形乾電池4個で使用する場合は電池持続時間は、6個で使用する場合よりも短くなります。また、音量も6個で使用する場合よりも小さくなりますので、ボリュームで適当な音量に調節してください。